

超高齢社会における医療の取り組み—ロコモ・フレイル・サルコペニア

日時：2019年6月29日(土) 13:00~17:05

場所：日本医師会館 大講堂 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 電話 03-3946-2121 (代)

主催/日本医学会 第155回日本医学会シンポジウム組織委員/中村 耕三・大内 尉義・鈴木 隆雄

プログラム

- 13:00 開会の挨拶 門田 守人 (日本医学会長)
- 13:05 序論—概要と背景 中村 耕三 (東和病院院長)
- I. 新しい概念と対策 **【座長】** 中村 耕三 (東和病院院長)
- 13:15 1. ロコモティブシンドロームの
概念・定義・判定法 大江 隆史 (NTT東日本関東病院院長補佐/ロコモチャレンジ!推進協議会委員長)
- 13:35 2. フレイルの概念と対策 楽木 宏実 (大阪大学大学院医学系研究科老年・総合内科学教授)
- 13:55 3. サルコペニア—現状と今後の展望 荒井 秀典 (国立長寿医療研究センター病院長)
- II. 高齢者における諸問題 **【座長】** 大内 尉義 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長)
- 14:15 4. 高齢者筋萎縮・低栄養・嚥下障害の
現状と課題 出江 紳一 (東北大学大学院医工学研究科, 大学院医学系研究科教授)
- 14:45 5. 高齢者認知症の現状と展望 金丸 和富 (東京都健康長寿医療センター脳卒中科部長)
- III. 概念間の相互関係 **【座長】** 鈴木 隆雄 (桜美林大学老年学総合研究所長/大学院教授)
- 15:15 6. 国立長寿医療研究センターにおけるロコモ・フレイル・サルコペニア等の
相互関係：病院コホート 松井 康素 (国立長寿医療研究センターロコモフレイルセンター長)
- 15:45 7. 要介護運動器原因疾患(ロコモ・フレイル・サルコペニア)の相互関係：
住民コホート ROADの追跡 吉村 典子 (東京大学医学部附属病院22世紀医療センターロコモ予防学講座特任教授)
- 16:15 休憩
- 16:30 総合討論 **【司会】** 中村 耕三・大内 尉義・鈴木 隆雄
- 17:00 閉会の挨拶 門脇 孝 (日本医学会副会長)
- 17:05 終了

参加申し込み方法

1. 日本医学会ホームページ

パソコンから…<http://jams.med.or.jp/>

日本医学会ホームページから「日本医学会シンポジウム」にお進みください。
申し込みフォームをご用意しております。



QRコード対応機種は、左記のコードで簡単にアクセスできます。

2. はがき, ファックス

①氏名②ふりがな③住所④電話番号⑤参加者区分：医師の場合、医籍登録番号と所属郡市区医師会名

[メディカルスタッフ, 製薬関係, 会社員, 報道関係, 学生, その他]を記入のうえ、以下までお送りください。

・はがき郵送先：〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内 日本医学会 宛

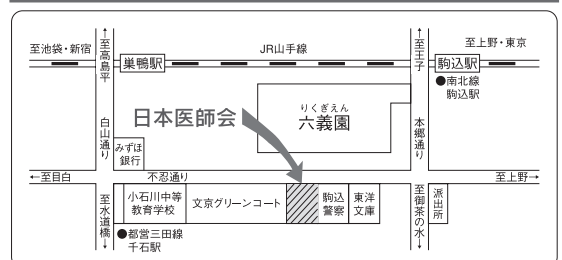
・FAX送付先：FAX 03-3942-6517 (日本医学会 宛)

・入場券：参加申し込み後、10日以内に本会より送付します。

・締め切り：先着500名

*ホームページ, はがき, ファックスからお申し込みの、参加希望者の
ご氏名・ご住所等の個人情報、入場券の送付に使用させていただきます。
第三者に提供することはありません。

参加者は、日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコード 19 (身体機能の低下) 2.5 単位と 29 (認知能の障害) 0.5 単位と 49 (嚥下困難) 0.5 単位の合計 3.5 単位を取得できます。
参加の際には、医籍登録番号、所属の郡市区医師会をご記入ください。



- JR山手線「駒込駅」南口より徒歩約10分
- 東京メトロ南北線「駒込駅」出口2より徒歩約10分
- 都営地下鉄三田線「千石駅」A3出口より徒歩約5分

問い合わせ先

日本医学会
〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館内
電話：03-3946-2121(代)
FAX：03-3942-6517